



大崎町協力隊通信 vol. 15

伊藤剛です。2024年4月より大崎町に移住してきました。東京から来ていますが北海道出身です。気候危機、竹林整備や森林に関心があり大崎町の竹林整備のことを1年前に知りました。またリサイクルの町で有名な町だけにゴミの分別の面白さを感じたいと思っています。2022年10月1日に施行された労働者協同組合法に則った協同組合のワーカーズコープ・センター事業団で働きながらの地域おこし協力隊になります。



竹林整備の様子

竹福商連携による竹の資源化モデルの拡大

この2年間で竹林整備が宮園地域で継続的におこなわれています。竹林整備がはじまったことで色々なものがぐるぐる回り、活動に関わってくれている障がい者の方々に参加する竹福連携、干し芋加工へという竹福商連携による資源化モデルが構築されています。宮園地域の活動を維持するとともに新たな地域にも広げたり、純国産メンマづくりの生産・収集拠点の構築などを考えています。

楽しく美味しく竹林整備

竹林整備の要は、炭づくりです。竹は無煙炭化器で簡単に炭にすることができます。炭は畑に散布することで、土壌改良や微生物を増やしたり、さらに炭素貯留ができるので地球温暖化対策にも有効という優れたものです。

次に挑戦しているのは、塩蔵メンマづくりです。輸入物に代わる純国産メンマをつくるべく、今年は141kgの塩蔵メンマを宮園地域でつくりました。活用方法もラーメンだけではなく、竹炭づくり・塩蔵メンマづくりをやってみたい、炭をつかってみたいという方はどうぞお問い合わせください。



労働者協同組合法の周知活用

2022年に新しい法律ができました。労働者協同組合法という固いネーミングですが、3人集まれば誰でも地域課題を解決したり持続可能な地域をつくるために働く労働者協同組合を設立することができるようになっています。労働者協同組合は、①働く人が組合員として出資し、②各自の意見を適切に反映しながら運営し、③組合の事業に従事するという3つの基本原理によって運営されます。全国的には色々な業種での設立が相次いでいます。第一次産業とその加工、シニアの仕事おこし、お弁当づくり、高齢者介護、メディア制作など派遣業以外ならどの分野でも設立が可能です。知りたい、興味があるという方はお気軽にお問い合わせください。

厚生労働省：知りたい労働者協同組合法
<https://www.roukyouhou.mhlw.go.jp/>

【お問い合わせ】 大崎町 農林振興課 林務水産係 担当:美坐、西野 ☎476-1111 (平日8:30～17:15まで)